# おめでとうございます

■会報では広告を募集しています。あいさつ広告と企業広告があります。お申込みは事務局へ。広告の掲載料金は同窓会活動に大いに役に立っております。幅広い会員各位のご協力をお願いいたします。

法政大学経済学部同窓会
会長
村田紀敏
昭和41年経済学部卒

法政大学理事　経済学部同窓会副会長
文化シヤッター株式会社
代表取締役社長
潮崎敏彦
昭和45年経済学部卒

法政大学校友会
会長
佐々木郁夫

法政大学経済学部同窓会　名誉会長
東京大学経済学博士
鈴木豊
契約理論・理論的産業組織論
企業の理論

法政大学経済学部教授会主任
宮﨑憲治
計量経済学・マクロ経済学

法政大学経済学部教授会主任
博士（理学）
藤田貢崇（みつたか）
物理学・科学ジャーナリズム

法政大学経済学部教授会副主任
菅富美枝
民法・法社会学・イギリス法

法政大学経済学部同窓会
会長代行
加藤毅
〒175-0082 東京都板橋区高島平五―三一―一二
電話 〇三（三九三〇）八六六五
一九六〇年経済学部経済学科卒（上杉ゼミ）

現役世代の皆さんの
入会を切望しています！
皆さまの熱いメッセージ広告を
お寄せください。お待ちしています。

メガソーラーコンサルタント
愛花創業㈱代表取締役
法政大学経済学部同窓会
幹事長
総務部会長
花澤良三
〒290-0141 千葉県市原市ちはら台東二―一一―一三
電話 〇四三六（三六）一一六〇
昭和46年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会
事務局長
髙森正雄
〒191-0002 東京都日野市新町一―八―一九
昭和45年経済学部経済学科卒（渡邊佐平ゼミ）

法政大学経済学部同窓会
事務局次長
馬鳥明成
〒206-0812 東京都稲城市矢野口二二八四―一一～四二五
電話 〇九〇（七八二六）〇一一六
昭和41年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
副会長
事務局次長
菅野里見
〒192-0913 東京都八王子市北野台三―四六―一一
電話・FAX〇四二（六三七）二五三五
昭和42年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会
副会長
斎藤孝夫
〒194-0043 東京都町田市成瀬台二―二三―四～二十一―三〇五
電話 〇四二（七二八）〇〇一二
昭和39年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
副会長
佐々木範光
〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡一―一七
電話 〇四（二九四二）七八〇六
昭和42年経済学部卒

村串仁三郎法政大学名誉教授　著
「高度成長期日本の国立公園」
――自然保護と開発の激闘を中心に――
（時潮社、三五〇〇円）
著者は一九六九年法政大学大学院（博）単位取得
博士（経済学）
経済学部同窓会副会長・HP副部会長

株式会社　榎本興産代表取締役
法政大学経済学部同窓会
副会長
榎本勝治
〒180-0014 東京都武蔵野市関前三―四―十一
電話 〇四二二（五二）七一七二
昭和40年経済学部卒

我孫子市きらめきデイサービス事業
湖北台ふれあいサロン
法政大学経済学部同窓会
副会長
田口裕吉
〒270-1122 千葉県我孫子市中里二一五―七
電話 〇四（七一八八）八四九九
昭和41年経済学部卒

平塚市旭北地区体育振興会顧問
法政湘南トポリンコール主宰
法政大学経済学部同窓会
副会長
古谷公利
〒254-0902 神奈川県平塚市徳延四三二―二
電話 〇四六三（三二）〇四四七
昭和35年経済学部経済学科卒

株式会社　森パール
取締役会長
森勲
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町一―一二―一一 森パールビル
電話 〇三（三二四六）一四九一（代）
FAX 〇三（三二四三）〇二八七
昭和35年経済学部商業学科卒

法政大学経済学部教授
副会長
森昭七
〒173-0022 東京都板橋区仲町一八―五
電話 〇九〇（四〇五一）七九七四
昭和32年経済学部卒

法政大学経済学部教授
副会長
山崎光雄

法政大学経済学部同窓会会総務部会
副会長
横山昭夫
（株）日本プリント取締役相談役
東洋サービス㈱特別顧問
自宅 〒202-0005 東京都西東京市住吉町一―一三―一
電話・FAX 〇四二四（二一）六〇二二
昭和31年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
顧問
岡田脩
〒233-0016 横浜市港南区下永谷五―二二―二八
電話 〇四五（八二四）八七九〇
昭和31年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会
顧問
神阪昂哉
〒564-0081 大阪府吹田市藤が丘町九―二五
電話 〇六（六三八八）一七一五
昭和22年専門部卒

法政大学経済学部教授
顧問
藤原速夫（はやお）
〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町一―五二六―七―八〇一
電話 〇四四（七一一）二五六六
昭和32年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
顧問
山川次郎
〒261-0026 千葉県千葉市美浜区幕張西三―六―七―一〇六
電話 〇四三（二七二）四五三六
昭和33年経済学部卒

法友野球倶楽部
会長
山中正竹
平成28年野球殿堂入り

法政大学経済学部同窓会
顧問
結城弘
〒194-0035 東京都町田市忠生二―一五―一一三
電話 〇四二（七九三）二七四八
昭和31年経済学部経済学科卒（大島ゼミ）

法政大学経済学部同窓会
監査役
上城功
〒192-0362 東京都八王子市松木五五―八
電話・FAX〇四二（六七〇）〇六九六
昭和33年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
監査役
原木正司
〒224-0024 神奈川県横浜市都築区東山田町一三〇四
昭和46年経済学部卒

『同窓会会報』は会員交流の広場です
法政大学経済学部同窓会
副会長
広報部会
小倉尚
〒145-0065 東京都大田区東雪谷三―一六―八
電話・FAX〇三（三七二九）一八九五
昭和40年経済学部卒（高橋誠ゼミ）

法政大学経済学部
村串ゼミOB・OG会　84年卒
代表
嶋崇
経済学部同窓会組織部会長
主婦の友社　月刊「健康」編集長

法政大学経済学部同窓会
事業部会長
元角昌三
〒188-0011 東京都西東京市田無町一―一二―六
電話〇一二〇（四〇八）〇三八
一九七〇年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
財政部会長
田口雅美
〒267-0057 千葉県千葉市緑区大木戸町九三―六九
電話 〇四三（二九四）五〇八八
一九七一年経済学部卒

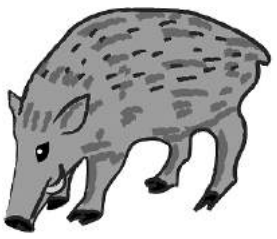
法政大学経済学部同窓会
財政部会　副部会長
会田久仁夫
〒336-0017 さいたま市南区南浦和三―二七―二二―一〇〇六
昭和42年経済学部卒

建設・不動産橙法会
顧問
池田亘
〒272-0023 千葉県市川市南八幡三―七―三
電話〇九〇（二四四九）八七〇四
（渡邉佐平ゼミ）
昭和46年経済学部経済学科卒

株式会社カーセブンディベロプメント
取締役
相談役
井上盛行
〒141-0032 東京都品川区大崎二―十一―一 大崎ウイズタワー23F
電話 〇三（五四三六）七七三五
昭和38年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会常任幹事
事業部会
恵良郁文
〒151-0071 東京都渋谷区本町四―四八―五
電話 〇三（三三七五）二二二二
昭和42年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会常任幹事
応援団OB・OG会幹事
東京宅建倶楽部幹事
大野文義
〒177-0051 東京都練馬区関町北二―三四―一
電話 〇三（三九二〇）一一一〇
昭和26年経済学部卒



# 2019年 あけまして

渡邉佐平ゼミ同窓会幹事
加賀 均
〒103-0023 東京都港区芝浦二―三―二七―八〇六
1972年経済学部卒

有限会社 京葉圧接
取締役社長 垣本一雄
〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町四二三―一六
電話 〇四三(二二四)二三七一
FAX 〇四三(二二四)二三七二
昭和53年経済学部卒（平田ゼミ）

法政大学校友会
経済学部同窓会常任幹事 総務部会
衆議院法友会 東京但馬会理事長
片村 晋
〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘四―五四―一〇
電話・FAX 〇四五(九〇三)六八二二
昭和33年経済学部卒（元総長・文化功労者有澤廣巳ゼミ）

法友体育会顧問
法友ハンドボールクラブ会長
川﨑保之
〒183-0035 東京都府中市四谷三―六四―二四
電話 〇九〇(二六四八)六三〇一
昭和38年経済学部経済学科卒

法政大学通信教育部
学生会北海道ブロック
顧問 川南（なみ）卓也
hokkaido.gakuseikai.hosei@gmail.com
2017年（平成29年）3月通教卒業

経済学部二部会計学研究会OB会
公認会計士 税理士 桑原正信
〒306-0016 茨城県古河市古河544―147
昭和43年経済学部商業学科卒

法政大学経済学部同窓会
常任幹事 事業部会
小宮山労務管理事務所（開業48年）
小宮山欣一
〒333-0866 埼玉県川口市芝六九九〇―一〇
電話 〇四八(二六六)九八四五
FAX 〇四八(二六六)三二五五
昭和36年経済学部経済学科卒

ウズベキスタン共和国
サマルカンド国立外国語大学名誉教授
博士（学術）胡口（ごぐち）靖夫（やすお）
電話・FAX 〇三(五三五七)七九八七
1969年経済学修士修了（日高ゼミ）

社会保険労務士法人スリーエス
特定社会保険労務士
坂本英樹
〒260-0013 千葉市中央区中央二―七―二
電話 〇四三(二〇二)二五四五
平成3年経済学部経済学科卒（萩原ゼミ）

ENDLESS BEAUTY INC.,
代表取締役社長 プロデューサー
坂爪新一
〒160-0023 東京都新宿区西新宿四―十七―三―三一五
電話・FAX 〇三(六三一四)二二〇六
http://www.endless-m.com
平成4年経済学部商業学科卒
平成6年大学院経済学修士修了

総合広告代理業 株式会社日広社
取締役会長 佐藤征己
〒104-0061 東京都中央区銀座一―一四―一〇
電話〇三(三五六七)七一一一(大代表)
FAX営業〇三(三五六七)七一一九
制作〇三(三五六七)七一一九
E-mail：s.sato@nikkosha-ad.jp

法政大学校友会会員
経済学部同窓会常任幹事
椎名隆
〒276-0096 千葉県八千代市大和田新田一〇六八―二―三一〇
電話・FAX 〇四七(四五〇)一八九七
昭和36年経済学部商業学科卒

株式会社 ユービコーポレーション
代表取締役 島田謙司
〒171-0052 東京都豊島区南長崎六―一―一二
電話 〇三(三五六五)一一一二
昭和47年経済学部卒（平田ゼミ）

特定非営利活動法人
フリースクール 歩む
代表理事 鈴木満雄
〒399-0022 松本市松原四六―三―二〇一
電話 〇二六三(五七)九九二七
E-mail：matumoto@ayumu.or.jp
箱根駅伝二度出場 1973年経済学部卒

オフィス曽根
代表 曽根章乃
〒105-0013 東京都港区浜松町一―一―六―四〇四
電話 〇三―三四三七―〇七八三
FAX 〇三―三四三七―〇七八三
携帯 〇八〇―三五六七―〇四三九
Email akinos.3567@ezweb.ne.jp

高橋建設興業株式会社
代表取締役会長 髙橋久之
〒212-0004 神奈川県川崎市幸区小向西町四―六五
電話 〇四四(五一一)〇五七七
FAX 〇四四(五五五)一二八七
昭和35年経商卒

東京都校友会
会長 髙根典文
江東法友会会長
経済学部一九六七年卒

株式会社桐屋
代表取締役社長 田島榮二郎
〒130-0025 横浜市戸塚区戸塚町一〇五番地
電話 〇四五(八六一)五七四一(代)
昭和37年経済学部商業学科卒

田中法律会計事務所
法政大学経済学部同窓会
常任幹事 財政部会
税理士 弁護士 田中秀樹
〒193-0825 八王子市城山手二―二一―二
電話 〇四二(六六六)一〇〇三

コマニー株式会社
社長執行役員 塚本幹雄
〒923-8502 石川県小松市工業団地一―九三
電話 〇七六一(二一)一一四四

法政大学経済学部同窓会
総務部会
副部会長 寺内敬壽
〒277-0871 千葉県柏市若柴二二七―六
柏の葉キャンパス147―B―705
電話 〇九〇(四九五二)七〇九六

法政大学校友会
落語研究会OB会
道城猛史
〒208-0013 東京都武蔵村山市大南1―153―7
TEL・FAX042―562―8067

祝法政大学経済学部同窓会
創立25周年
中野ゼミOB会（77会）一同
E-mail：y_may_kanao@yahoo.co.jp
電話 〇四二(五二二)九七四一

法政大学経済学部同窓会
広報部会 副部会長
中島徹夫
〒244-0814 神奈川県横浜市戸塚区南舞岡三―三〇―一九
電話 〇四五(八二二)五三九二
昭和36年経済学部商業学科卒（宇佐美ゼミ）

法政大学経済学部同窓会
広報部会
長野隆一
〒251-0876 神奈川県藤沢市善行坂二―一二―三八
昭和41年経済学部経済学科卒

(有)恒林 代表取締役
山本弘文ゼミナール同窓会会長
林恒雄
電話 〇三(三六三一)一九三四
FAX 〇三(三六三一)〇三七七
昭和33年3月経済学部経済学科卒

南宗谷カントリー倶楽部
顧問 深井信朗
〒098-5204 北海道枝幸郡枝幸町歌登南町三八〇―四
電話 〇一六三(六八)二八三六
昭和36年経済学部商業学科卒

法政大学経済学部同窓会
組織部会・事業部会
博士（経済学）前原直子
maehara-phoenix@cpost.plala.or.jp
2010年大学院修了

二度栗山興業株式会社
取締役会長 宮内良雄
昭和26年経済卒

KGMコンサルティング代表
世界大学ランキングエキスパート
綿貫健治
〒171-0033 東京都豊島区高田一―三八―一二―五〇五
電話 〇三(三五九〇)二〇七七
昭和40年経済学部卒

文京法友会
会長 林田有史 法40
副会長 志賀真人 法60
幹事長 岩田雅人 経平14
相談役 髙橋将昭 経34


ひとつの情報 多彩に活用
株式会社 きかんし
［本社］135-0053 東京都江東区辰巳2-8-21
TEL 03-5534-1234㈹ FAX 03-5534-1235
〈URL〉http://www.kikanshi.co.jp
［法政ＯＢ］
島村 和良（社会学部 '75卒）
夏目 安男（経済学部 '72卒）
小林 昭夫（工 学 部 '77卒）

マンション大規模修繕工事
SANWA
人のくらしを美しく
三和建装株式会社
本 社 188-0011 東京都西東京市田無町1－12－6
TEL 0120-408-038
(URL) http://www.sanwakenso.co.jp
営業所 埼玉・千葉・神奈川
【法政ＯＢ】
会 長 元角 昌三（経済学部'70卒） 工事部課長 田中 裕（大学院工学研究科'94卒）
総理部 朝長 修司（経済学部通教卒） ＣＳ部主任 橋本 良紀（法 学 部'05卒）

シリーズ

# 先輩・後輩・ご同輩

お元気ですか 63

立教大学　総長

**郭　洋春（かく　やんちゅん）さん**

（1983年３月　経・経卒）

「いまは豊かさを上手に配分する社会の実現、平和経済学が求められています。その考えを進めるうえで、法政大学で学んだ〝マルクス経済学〟と、立教大学で学んだ〝建学の精神〟が非常に役に立ちます。」

## 法政大学で学び　立教大学で学ぶ

### ―学風の差が思考に厚みをつくる―

郭洋春（かく　やんちゅん）さんは2018年4月に立教大学の総長に就任されましたが、実は1983年に法政大学経済学部を卒業された、私達のご同輩であることを知りました。

どのような人物で、どういう経緯で総長になられたのか。興味津々で立教大学の総長室を訪問してお話を伺いました。

池袋駅西口から立教大学に向かい、キャンパスに入ると、あまりの素晴らしさに圧倒されました。全学生の54％が女子とのこと。法政大学とのギャップを感じ益々興味が湧き、インタビューに臨みました。

（構成・花澤良三、佐々木範光／写真・高橋将昭）

＊　＊　＊

**法政大学で『資本論』に没頭**

――なぜ法政大学の経済学部を選んだのですか

「本来は医学部志望で受験勉強をしていたのです。ところが、知人から医学の道ではなく、もっと世の中を変える勉強をしたほうがよいと強く勧められたことがきっかけで、経済学を学ぶことにしたのです。なかでもマルクス経済学を学ぶことを勧められ、法政大学経済学部に入学しました。法政には目標を持って入学したのです」

――どんな子供時代でしたか

「誕生日は1959年7月21日で、生まれは東京池袋です。家族がクリスチャンでしたので、私は母の実家の千葉県木更津市で幼児洗礼を受けています。

豊島園の近くの小中学校に通い、高校は巣鴨高校を卒業しました」

――法政大学ではどんな勉強をされましたか

「大学時代は自分でも熱心な学生であったと思います。授業はいつも一番前の席に座り、終わるたびに必ず質問をしていました。

私の人生に大きな影響を与える南克巳教授と運命の出会いをして、南先生のゼミで『資本論』の勉強に没頭しました。人生で一番勉強したのがこのときで、いまでも法政大学経済学部に入学したことを感謝しています」

――南ゼミの演習内容は

「『資本論』の勉強では、180分のゼミの間に2～3行しか進まないことはざらであり、徹底的に極めた議論を行っていました。質問をすると、何故そういう質問をするのか、その理由まで追及されました。

のちに立教大学の大学院での勉強でも、すべてディスカッションについていけましたので、南ゼミでは非常に貴重な時間をすごさせてもらったと感謝しています。また毎年行った夏合宿も思い出に残っています」

**立教大学の建学の精神で考えに厚みが**

――立教大学の大学院を選ばれたのは？

「学部4年生のとき、事情があって南先生が法政大学を退任されることになり、さらに勉強を続けたかった私は、先生から立教大学の大学院に進学することを勧められたのです。

しかし立教大学では、違った意味での勉強ができました。創立者のウィリアムズ主教の教え、「道を伝えて己を伝えず」という信念や、「譲る気持ち」「感謝の気持ち」を学ぶことができ、私にとっては考え方に厚みができて、結果的には良かったと思います」

――郭先生のご専門は何でしょうか

「現在はアジア経済を研究しています。世界人口の4割を占めるアジアの人たちにより豊かな生活をしてほしいからです。

そのために現在の成熟社会で求められているのは、本来の意味での〝経済〟を実現することです。すなわち、世の中を経（おさ）め民衆を済（すく）うこと。〝経済〟の語源である〝経世済民〟の実現です。

それには〝足るを知る経済〟を広めることが必要だと考えています」

**豊かさを上手に配分する社会の実現を**

――これから私たちに必要とされることは

「人間の欲望は際限がなく、そのために少数の富裕層に富が集中しているのが現状です。この状態が続けば政治の安定性を欠くことになります。いまは豊かさを上手に配分する社会の実現が求められており、別の意味で言うと平和経済学が求められているのです。その考えを進めるうえで、法政大学で学んだ〝マルクス経済学〟と、立教大学で学んだ〝建学の精神〟が非常に役立っていると感じています」

――総長のお仕事以外にいま取り組んでおられることはありますか

「埼玉県和光市の地域力の向上や、地元豊島区の活性化に尽力しています。社会奉仕活動や地域連携の取り組みのなかで、地元の人たちとのふれあいで教えられることも多いですね」

――法政大学の経済学部同窓会のイベントにご参加いただけませんか

「時間が取れれば是非、参加してみたいですね。ご案内をいただければ、検討したいと思います」

**【取材を終えて】**

２つの異質な大学で学んだことが郭総長の人間性のスケールの大きさを形成したのだと感じました。

さまざまな障害を乗り越えて立教大学の総長に就任されたのも当然と思い、また、その郭総長の存在をこれまで存じ上げなかったことを残念に思いました。

郭総長をより知っていただくために、母校である法政大学でのご講演をお願いしたいと考えています。ご期待ください。（花澤）

---

**第24回　就活支援セミナー開催**

## 若い先輩の就活体験と仕事の話を真剣に聞く

去る10月17日（水）17時25分から、経済・社会・現代福祉・スポーツ健康各学部同窓会主催、４学部各教授会及びキャリアセンター後援の第24回就活支援セミナーが「先輩が語る就活体験と仕事」と題して、多摩キャンパス総合棟3階遠隔講義室で60名近い学生にスピーカー、教員、同窓会員を加えて約95名が参加して行われました。

スピーカーは、経済学部17年卒の山本友加里氏（野村信託銀行リテールビジネス事業部）、経済学部07年卒の粕加屋拓氏（太平洋セメント㈱）、社会学部16年卒の大野茜氏（三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ経営戦略部）、現代福祉学部16年卒の蔭山エリカ氏（東京都庁江東児童相談所）、スポーツ健康学部14年卒の菅原健人氏（アシックスジャパン㈱アスレチック東日本事業部）の皆さんです。

▶スピーカーとコーディネーター

▼セミナーに聞き入る学生

コーディネーターは経済学部教授会主任宮崎憲治教授が務めました。

セミナーは19時10分ごろ終了、会場をエッグドームに移して懇親情報交換会が和やかに行われました。

（文／写真・菅野）

**企業実務研究**

## インターンシップ受入企業紹介のお願い

事務局長　髙森　正雄

経済学部同窓会は毎年経済学部の学生を対象としたサマーインターンシップ受入企業のご紹介をお願いしております。本年度は、アセンテック㈱、川口信用金庫、コマニー㈱、㈱ジェイパック、㈱スリーエス、㈱セントラルユニ、東京信用金庫及び文化シャッター㈱から学生の受入れにご賛同いただきました。

その結果、全体で14の企業で延べ18名の学生がインターンシップを体験し、10～11月には「体験報告授業」が行われました。これは「企業実務研究」という正課です。

学生の報告は、パワーポイントを駆使しながら、実習先企業の紹介に始まり、研修プログラム、体験から学んだ内容、当該企業に対する印象等、さまざまな角度から行われ、報告に続く質疑応答も極めて活発で、授業に参加した学生諸君のそれら企業への関心の高さが窺われました。

昨年は、経団連が2021年春の採用から従来の採用ルールを廃止する旨を発表するなど、今後の採用活動の劇的な変化を予兆させる年でもありました。こうした環境変化を背景に、インターンシップを通じた実社会での体験に対する学生の希望や関心は今後ますます増大し、また企業側でも、インターンシップを採用に役立てようとする機運が一層高まると予想されます。

会員各位には、皆様とつながりのある企業を引き続き積極的にご紹介賜りますようお願い申し上げます。

ご紹介は、本会報に同封のアンケートハガキにてご返信ください。同窓会から経済学部事務課に連絡し、返信を頂戴した企業に接触させていただきます。

---

**就活支援セミナー**

## スピーカーとして参加して セミナーをさらなる成長の機会に

太平洋セメント㈱人事部人事グループ　粕加屋　拓

この度、経済学部ＯＢとして就活支援セミナーに参加させていただきました。これまで長い歴史を通して、本セミナーが現役学生の就職支援の一助となってきたことを伺い、今回お招きいただいたことに改めて感謝すると同時に、誇りに思います。

先般、日本経団連が2021年度以降の「採用選考に関する指針」を策定しないことを表明し、今後政府の動向も踏まえ一定の方針が出されることとなりますが、これまでの就職活動のあり方自体が見直されようとしています。

こうしたなか、今回多くの学生が参加されたのは、日頃の就職活動に対する関心の高さ、並びにキャリアセンター、同窓会を始めとした関係者の手厚い就活支援に起因するものだと感じました。

昨今中途を含めた通年採用の機運も高まりつつありますが、学業や課外活動等、学生にしか味わえない環境も数多くあると思います。是非こうした経験を通じて皆さん自身のさらなる成長につなげてほしいと切に願っています。

スピーカーの粕加屋氏とセミナーに参加した現役学生の山口瑞貴さんから、感想文が寄せられましたのでご紹介いたします。

（文／写真・菅野）

---

## 勉強になった先輩方のお話

現代ビジネス学科3年　宮﨑憲治ゼミ　山口　瑞貴

今回、就活支援セミナーに参加し、様々な職業の方の就職活動について知ることができました。

今まで就職活動について漠然としたイメージしかありませんでしたが、実際に就職活動をした年に近い先輩方の話はためになるものばかりでした。

なかでも、大野さんの面接に紙芝居を持っていって披露したという話はとても面白かったです。また面接では企業に好かれようとするのではなく、自分の好きなことを話すとよいというのはとても勉強になりました。

今回のセミナーを通して、いろんな業種の人がいて、それぞれの就職活動の形があることがわかり、自分のスタイルにあった方法を見つけることが大切だと思いました。

人事の方の話も実際に面接を受けた方の話も両方一度に聞けることはなかなかないので貴重な経験になりました。私も自分らしい就活の仕方で頑張ろうと思います。

---

## 「大内山校舎」姿を見せる

大内山庭園とポアソナードタワーの間に建設される「大内山校舎」の工事囲い

9年春に完成する「大内山校舎」は延べ面積約1万1000㎡、地上8階・地下1階の建物で、4階上層には50～100人収容の教室が28室、その下層には学生支援の事務室や教授室が設けられます。故大内兵衛総長の名を冠した「大内山校舎」は、最新の教育・情報システムを備え、法政大学の更なる発展の起爆剤になるのではないかと期待されています。**写真は靖国神社側から**（文・写真／中島）

# 教授登場 62

## 経済学部准教授 山田（やまだ） 快（かい）さん

専門はスポーツ心理学

# 研究テーマは「スポーツチームの一体感」

## 学生はスポーツ習慣を身につけようゼミには体育会系の学生も

山田先生のご専門はスポーツ心理学で、チームの一体感やコーチング法などを研究され、授業は体育実技を担当されています。学生時代はバレーボール部に所属。身のこなしも話しぶりもスポーツマンそのものでした。経済学部では2番目に若い先生とのことです。

（構成・小倉／写真・高橋）

＊　＊　＊

### 小学2年生からバレーボール

実家は東京都大田区で、東調布第一小学校の2年生からバレーボールを始め、もっぱらバレーに時間を費やす子供時代でした。私の小学校のチームはすごく強かったのですが、指導は根性主義で厳しかったですね。あるとき見学に行った法政二高の運動部では暴力を絶対に許さず、部活動も先生主導ではなく学生主体であることを知って感動し、それで二高に進学しました。その頃法政二高のバレーボール部はインターハイなど全国大会の常連校で、私は3年間控え選手でした。

法政大学には内部進学で社会学部に入り、バレーボールはやめるつもりでしたが、二高のバレー部の先輩から誘いを受け、選手ではなくサポートスタッフとしてバレー部に入部。これはいわば雑用係で、試合中、汗でぬれたコートを素早く拭きにいくのも大事な役割でした。法政大学バレー部は関東大学バレーボール連盟1部リーグに所属し、全日本インカレで優勝10回と、中央大学に次ぐ強豪で、80年代には3連覇するなど大学バレーボール界を牽引する存在でした。ところが、私が3年生の時、春季リーグ戦で40年ぶりに2部リーグに降格するという悪夢が起こり、秋には1部に戻ったものの、その衝撃は大きく、4年生になると、選手ではない私がキャプテンを命ぜられ、良い選手が揃っているのになぜか噛みあわない、試合に勝てないといらもどかしい思いも経験しました。

### 体育学会の若手研究奨励賞を受賞

その流れのなかで、法政大学経営学部の教授で、私の高校・大学の先輩でもあり、バレーボール部の監督をされていた吉田康伸先生にスポーツ科学を勉強するよう勧められ、順天堂大学の大学院に進学しました。順天堂では、博士前期課程の夜間のクラスを本郷・お茶の水キャンパスで開講していましたので、私は法政の体育館で学生と練習をしてから、6時30分に始まる授業に駆けつけるという毎日を送りました。

博士後期課程では、研究テーマを「スポーツチームのまとまり（凝集性）」としました。そして、スポーツチームの組織風土がチームの一体感にどのように影響するかを検証するため、高校・大学の運動部の男女を対象に質問紙調査を行い、得た回答を統計を用いて分析しました。その結果、チームメンバーの円滑なコミュニケーションが、チームを中心にする統制とイノベーション（新しい考えや行動）の受容と結びつくことにより、チームの一体感を高めることが確かめられました。現場の実感をはじめてデータで証明するものでもありました。

この研究は、日本体育学会から若手研究奨励賞を受賞しました。それまでほとんど研究のなかった分野に挑戦したことが評価されたのだと思います。順天堂の院生でありながら、法政大学文学部の荒井弘和教授の全面的なご指導を得ての研究成果でした。

### 法政大学経済学部の教壇へ

経済学部との縁は、大学院を修了した2014年の4月、兼任講師としてスポーツ種目（バレーボール）の授業を担当したのが始まりです。翌15年には渡部近志先生が退職されましたので、先生の担当されていた科目を兼任講師であった私がそのまま引き継ぎました。

そして16年に准教授として着任しました。

授業はスポーツ総合と演習（ゼミ）を担当しています。スポーツ総合は1年生の必修科目で、経済学部は月曜日の1～3限に行いますので、学生の生活リズムを作る重要な授業になっています。経済学部では教育方針として「心技体の練成」を掲げていますので、学生はこれをきっかけに、生涯にわたる運動習慣を身につけてほしいですね。

### 体育会系のゼミ生も

ゼミ生は30人で、体育会系の学生も多く、背景や知識・技能水準も多様ですので、まずは学生同士の結びつきを大切にし、社会に出て最低限必要となるスキルを身につけることを重視して指導し、学生には失敗をおそれず、自由な発想で主体的にゼミを運営するよう求めています。

私はまた、SSI（スポーツ・サイエンス・インスティチュート）でアスリート育成指導法の授業を担当しています。SSIは、スポーツ推薦試験で入学し体育会に所属する学生が選択できる学部横断のコースです。実は経済学部は、このSSIの受入れ数が一番多い学部ですので、法政スポーツに最も貢献しているといえるかもしれませんね。

【略歴】1985年東京都生れ。2004年法政大学第二高等学校卒業、08年法政大学社会学部卒業、11年順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程、14年同後期課程修了。博士（スポーツ健康科学）。同年法政大学経済学部兼任講師、16年同准教授。共著論文に「スポーツチームの一体感と組織風土との関係性」（『スポーツ産業学研究』第24巻第2号所収）など。

# 多摩の息吹

現役学生のキャンパス便り

国際経済学科２年　柳（やなぎ）　裕（ゆたか）

私は経済学部国際経済学科2年 YoshiSeminar（佐藤良一ゼミ）に所属している柳裕です。今年度から経済学部学生会の委員として活動しています。まずはじめに、今年度の各イベントに関して厚いご支援、ご協力をいただいた同窓会の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、今年度の学生会の活動について述べさせていただきます。今年度、学生会が主催し、運営した大きなイベントはディベート大会、学生研究報告大会、プレゼン大会です。私は昨年度とは異なり、学生会としてこれらのイベントに参加し、運営に携わってきました。昨年度は提供されるものを享受するという、ある意味受け身の形でこれらのイベントに参加しました。一方、今年度は学生会として、主催する立場で参加しました。イベントの主催や運営を経験する機会の少ない大学生には、それはとても新鮮であり、貴重な経験でした。また、それは自らの成長の機会となりました。

今年度の学生会での活動は先輩方からさまざまなことを学ぶことが多く、先輩方の補佐をすることが主な活動でした。ですが、来年度は我々2年生が主体となり、今年度の経験や反省を活かし、各イベントをより良いものにします。そして、先輩方から引き継いだ良き伝統を大切に、法政大学経済学部のさらなる発展を目指して活動していきたいと思います。

# 教授会執行部と同窓会役員との定例懇談会開催

昨年9月26日（水）10時から1時間、多摩キャンパスの経済学部会議室で教授会執行部と同窓会役員との定例懇談会が開かれた。

教授会執行部からは、鈴木豊経済学部長、宮﨑憲治教授会主任、藤田貢崇教授会主任、小野木修事務課長が出席し、同窓会からは、加藤毅会長代行、花澤良三幹事長、村串仁三郎副会長、高橋将昭副会長、小倉尚副会長、菅野里見副会長、高森正雄事務課長、馬鳥明成事務局次長が出席した。（菅富美枝教授会副主任、村田紀敏同窓会長は所用のため欠席した）

懇談では、同窓会は、本年の忘年パーティーを市ケ谷キャンパスで開催すること、卒業生と学生との交流促進のための「わいがや塾」を計画していることなどを説明し協力をお願いした。

また、校友会の年度同期会会員の移籍問題の経過、就活支援セミナーや学生プレゼンテーション大会への後援、サマーインターンシップ報告会への同窓会員の参観のお願い、『同窓会報』への広告出稿のお願いなどが話題となった。2年後の経済学部創設100周年について学部の計画は未定とのことだったが、同窓会は何らかの参加・協力をしたいと希望した。（小倉）

# 校友会

## 第26回 全国卒業生の集い千葉大会

# 参加千名、もてなしを満喫

70年卒　髙森正雄（事務局長）

昨秋10月6日、千葉県の東京ベイ幕張ホールで「第26回法政大学全国卒業生の集い千葉大会」が開催された。主催者発表で参加者は約1000名。テーブル着座形式による集まりとしては、滅多にみられないほどの規模であろう。

大会式典は岩橋成行千葉県校友会副会長の開会の辞で始まり、佐々木郁夫校友会会長の挨拶、伊藤貞雄千葉県校友会会長の歓迎の辞と続く。

田中優子総長からは「祝辞といっても30分話せと言われている」と出席者を笑わせた後、日本や世界の将来を見据えての人材育成に向けた法政大学の取組み、そのための教員、学生及び職員による三位一体となった体制の構築等、蘊蓄のあるお話があった。続く小澤徳後援会会長の祝辞には、法政大学への深い思い入れが感じられた。

大会第一部はオリエンタルランドの上西京一郎社長による講演で締めくくられる。TDL誕生までのご苦労や、「完成」という文字のないTDLの絶え間ない進化に向けた努力についてのお話が印象深かった。

第二部の懇親会は、熊谷俊一千葉市長のユーモアに富んだ祝辞に続き、桑野秀光校友会特別名誉顧問の乾杯で開宴。銚子はね太鼓、応援団演舞を満喫しながらの食事・歓談を楽しみ、酔いも回り始めた頃に、菅義偉官房長官が超多忙の合間を縫ってお祝いに駆けつけてくださった。

最後は、次回開催地である徳島県校友会の石原譲会長が阿波踊りをバックに挨拶をされ、応援団・チアリーダーのリードのもと、全員による校歌斉唱でお開きとなった。

応援団のパフォーマンスを背景に経友会の参加者たち　写真・田口裕吉

# 校友会　法政大学全国卒業生の集い

## 今年は徳島県で開催

11月15日～17日

今年の第27回法政大学全国卒業生の集いは、2019年11月に徳島県で開催されます（徳島大会）。

期日：2019年11月15日～17日

15日（金）記念ゴルフ大会

16日（土）大会式典・懇親会

17日（日）エクスカーション

会場：JRホテルクレメント徳島

お問い合せは法政大学校友会事務局まで

電話：03・3264・1831

FAX：03・3264・4770

Eメール：jimukyoku@hoseinet.jp

# ご参加ください

## オール法政 新年を祝う会

法政大学校友会は2019年の「オール法政新年を祝う会」を左記のように開催します。

日時：2019年1月27日（日）

13時開宴

会場：グランドニッコー東京 台場（ゆりかもめ「台場」駅直結）

会費：1万2000円（同伴家族は8000円）

お問い合せは法政大学校友会事務局まで

電話：03・3264・1831

FAX：03・3264・4770

Eメール：jimukyoku@hoseinet.jp

法政大学経済学部 同窓会報

この会報は、皆様の会費とお寄せいただいた浄財で作成しお届けしています。

## サンクトペテルブルク エカテリーナ宮殿の前で

写真・有光幸和

# エンジョイ経友会同行記

## ロシア二つの世界遺産を巡る旅 歴史の色濃いサンクトペテルブルクと首都モスクワを訪ねて

経・経58年卒　上島繁廣

第20回海外旅行

モスクワ・クレムリン　イワン雷帝の鐘楼、ウスペンスキー大聖堂を望む
スケッチ・上島繁廣

平成30年9月5日から11日まで7日間、15名の参加者により、ロシアの二つの都市を回ってきた。

ロシアと聞いただけで、管理・規制が厳しいのでは？と思われたが、やはり機中アルコールが出ない。今時それはないよ！と言いながらサンクトペテルブルク観光へ。

サンクトペテルブルクはロシア帝国時代の首都で街中に運河がめぐらされ、古い街並みがそっくり残っている、まさに歴史の街である。エルミタージュ美術館（世界三大美術館の一つ）、エカテリーナ宮殿、大噴水で有名な庭園は、絢爛豪華、贅沢の極致で、高度な装飾と純金をふんだんに使った内装に圧倒される。

首都モスクワは雑多で活動的な街。突然、高層ビル群が現れる。赤の広場は相変わらず管理がやかましい。クレムリン内部の武器庫と称した宝物殿や、国営の百貨店など、ソ連解体後のモスクワを見ることができた。

今回、現地通訳の日本語による丁寧な解説も素晴らしく、さまざまな思い出に花を添える旅となった。

## 武蔵国分寺の史跡を訪ね、お鷹の道を歩く

### 幹事さんの綿密な下調べに感謝

経・経60年卒　武内洋一

第49回散策の会

昨年10月20日（土）、散策の会に参加し、およそ1300年前の奈良時代、聖武天皇の詔によって建立された武蔵国分寺を中心とした史跡の多い地域を訪れました。

西国分寺駅を10時に出発したメンバーは14名。好天の下、「史跡通り」という木々の間を歩くコースに武蔵野を感じ、武蔵国分尼寺跡、武蔵国分僧寺跡を経て現在の武蔵国分寺へ。途中立ち寄った資料館の説明では、当時の武蔵国分寺は全国の国分寺の中でも最大級で、東西1・5㎞、南北1㎞の広大な敷地を有しており、金堂や講堂のほか、僧坊（僧の宿舎）や七重塔もあったそうです。

万葉植物園となっている国分寺の境内から路地に入ると「お鷹の道」。ここは、江戸時代徳川家のお鷹場だったところの清流沿いの遊歩道です。"お鷹の道"を気持ちよく歩き2時間の散策を終え、国分寺駅近くのレストランで昼食・歓談し、解散となりました。

幹事さんの綿密な下調べや資料のおかげで楽しいひと時が過ごせましたことを感謝しています。

武蔵国分寺跡で

## 経済学部同窓会ロシア旅行報告

## ロシアの新旧二つの首都を楽しむ

経・経　71年卒　花澤良三

今年の海外旅行は初めて旧共産圏ロシアの2つの都市を巡る旅を計画しました。団長の村串さん、幹事元角さんを中心に94歳の長原さんも参加し総勢15人、9月5～11日の5泊7日の日程です。

最初の訪問地は旧都サンクトペテルブルクで、成田からモスクワで乗り継ぎ、15時間かかりました。時差が6時間あったので、当日に到着しました。ここは歴史の町で石作りの重厚な建造物が建ち並び、地震のないことが前提の街作りとなっています。

旦玉は世界遺産「エルミタージュ美術館」です。隆盛を極めたツアー時代の絵画や金ぴか美術品がたくさん展示されていました。一時期ナチスドイツに占領されましたが、修復して観光の名所になっています。

次に訪れたモスクワは首都であり、近代的な建物が目立ちます。「クレムリン宮殿」と「赤の広場」を見学しました。今年はモスクワ建都871年とのことで、当日は「モスクワの日」祭が行われていました。「赤」は「美しい」という意味で赤旗とは関係ないそうです。クレムリンは「城塞」という意味で、つまりお城なのです。日本の皇居と思えばよいと思います。

共産党の歴史に関心があったのですが、スターリンの功績を顕すのは銅像一つのみでした。旧共産圏の旅行ということで構えて行きましたが、特段不自由さは感じませんでした。

最高齢の長原さんも全行程をクリアーし、楽しく酒もよく飲み食事も完食していました。天候に恵まれて快適な日程で進行でき、一人の脱落者もなく全員無事で帰ってきました。

モスクワ・赤の広場
国立歴史博物館　写真・有光幸和

## エンジョイ経友会の予定

※　参加希望者は各担当者、または事務局（042－783－2550）へお申し込みください。

第17回　招福・七福神巡り「谷中七福神巡り」
日　時：2019年1月5日（土）9時45分～13時
集　合：JR山手線・京浜東北線　田端駅北改札9時45分
コース：田端駅→東覚寺（福禄寿）→青雲寺（恵比寿）→修性院（布袋尊）→天王寺（毘沙門天）→長安寺（寿老人）→護国院（大黒天）→不忍池弁天堂（弁財天）→昼食→上野駅→解散（所要時間2時間）
※下町情緒溢れる街並みを巡る人気コース
費　用：昼食代（実費）
担　当：田口裕吉（04-7188-8499）
高橋将昭（090-7900-3134）

第7回　桜を観る会（井の頭恩賜公園）
期　日：2019年3月30日（土）
集　合：京王井の頭線　井の頭公園駅改札　9時50分
コース：井の頭公園駅→法政中学高校→玉川上水緑道→井の頭恩賜公園→昼食→ＪＲ中央・総武線、京王電鉄吉祥寺駅→解散
※井の頭恩賜公園は、さくら名所100選に選出されている
費　用：昼食代（実費）
担　当：高橋将昭（090-7900-3134）
田口裕吉（04-7188-8499）

〈散策の会〉今後の予定（2019年5～7月）
◎庭園散策、自然散策、歴史散策　等々
実施の詳細が決定次第、会報あるいはホームページでご案内します。

## 活動報告　2018・9～12月

9.　5～11　第20回海外旅行「ロシア2つの世界遺産を巡る旅」
13　第160回代表幹事会
16　広報部会
20　第141回常任幹事会
26　教授会執行部との懇談会
29　臨時代表幹事会（組織改革委員会）
10.　5～7　全国卒業生の集い「千葉大会」
14　広報部会
17　就職支援セミナー
20　第49回散策の会「武蔵国分寺跡をたずね、お鷹の道を歩く」
25　第1回忘年パーティー実行委員会
インターンシップ報告授業の参観
11.　1　インターンシップ報告授業の参観
3　理工学部・生命科学部創立10周年記念式典
15　事業部会・第2回忘年パーティー実行委員会
代表・常任幹事会
17　ホームページ部会
18　広報部会（会報割付）
30　会報初校
12.　1　親睦忘年パーティー
5、8、12　会報校正
8　学生プレゼンテーション大会
21　会報発送

ご紹介ください
新入会員!!
皆さまの周りで同窓会に未加入の方がいましたら是非入会のお誘いをお願いいたします。
『同窓会報』見本紙、入会案内お送りします。ご請求下さい。
経済学部同窓会
〒194-0298 東京都町田市相原4342
法政大学経済学部同窓会
電話・FAX：042-783-2550
（事務局開室日は火・金曜日）

## @事務局通信

昨年は多くの会員が自然災害により大変なご苦労をされ、事務局でも豪雨や地震に見舞われた地域の皆さまの安否が気がかりな日々を送りました。ただ他方で、不謹慎とのお叱りを受けることを覚悟のうえで申し上げるのですが、被災に関するお見舞やアンケートを通じて、普段ほとんど接することのない会員の方々と文字を通じてではありましたが、対話ができたことを大変うれしく思ったことも事実です。今回の会報にも同封いたしましたが、今後は、全国の会員の皆さまとの距離をどんどん縮めていければと願っております。どうかご協力を賜りますようお願い申し上げます。（高森）

## 編集後記

▽1面特集では、前号特集「村田新会長に抱負を聞く」で大いに話題になった「わいがや塾」の意義を学生支援・交流の観点から、また同窓会の持続可能性の観点から取り上げました。同窓会26年の歴史をひも解いてみると同窓会はかなり挑戦的だったことがわかり、「わいがや塾」も意外に大きな発展可能性があるのではないかと思えてきます。
▽2018年度の経友会忘年パーティーは市ケ谷キャンパスの新しい校舎＝富士見ゲートで開催しました。出席者が200名を超えるという、これまでにない盛会ぶりでした。3面の記事でその賑わい振りが感じられるでしょうか。